



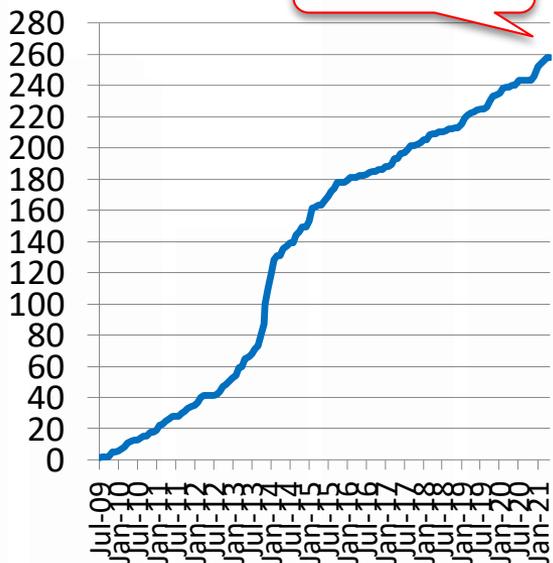
学認アップデート

2021.7.8 NII学術情報基盤オープンフォーラム2021
国立情報学研究所 西村 健

IdP/SPの推移(2021年6月末現在)

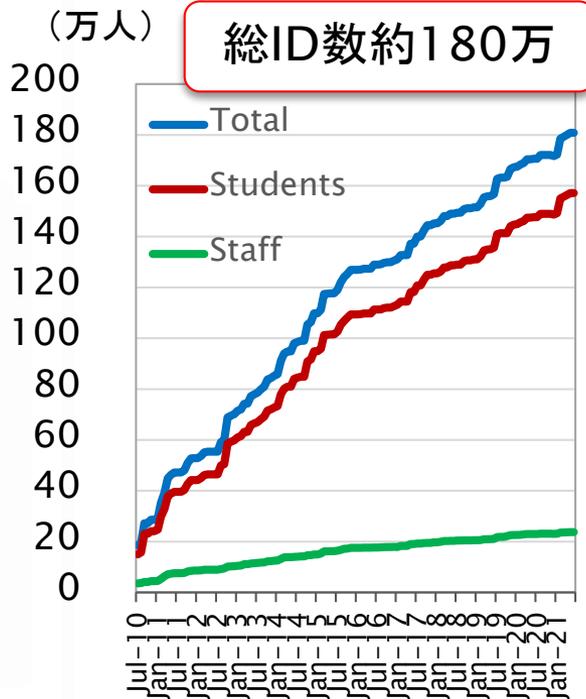
IdP機関数

258機関



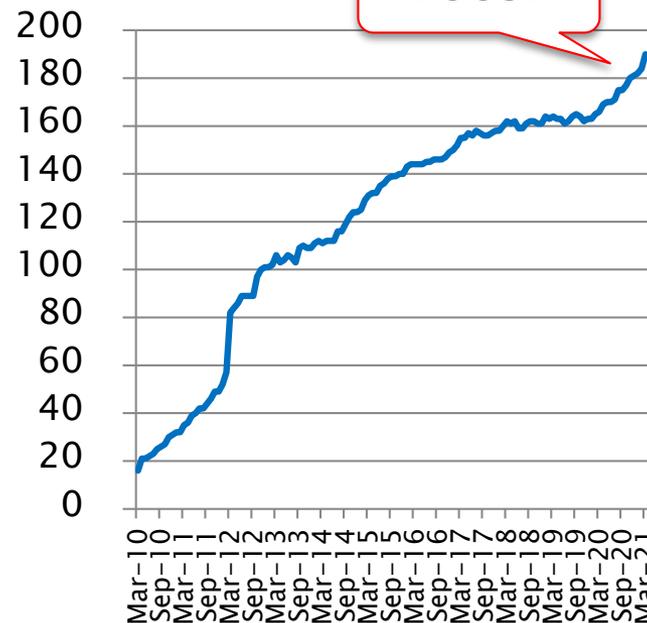
IdPユーザ数

総ID数約180万



SP数

188SP



| | 国立大学 | 公立大学 | 私立大学 | 短期大学 | 高等専門学校 | 共同利用機関 | その他 | 合計 |
|-------|------|------|------|------|--------|--------|-----|-----|
| 学認参加数 | 78 | 27 | 86 | 1 | 51 | 4 | 11 | 258 |
| カバー率 | 91% | 30% | 14% | 0% | 89% | | | |
| 総機関数 | 86 | 91 | 604 | 333 | 57 | | | |



GakuNin

eduGAIN

- ▶ 世界各国の学術IDフェデレーションを相互接続(inter-federation)し、グローバルな研究・教育コミュニティのためのコンテンツ、サービスなどの資源へのアクセスを容易にすることを目指しています

- ▶ <https://edugain.org/>

- ▶ eduGAINには、60以上の国と地域が参加しています

- ▶ 3000以上のIdPと、2000以上のSP

- ▶ ORCID, SheerID, Dropbox, FileSender, MATLAB, 一部の電子ジャーナル など



■ Participants ■ Voting-only ■ Candidate

<https://technical.edugain.org/status>

- ▶ 学認からはオプトインで参加できるようになっています

- ▶ 参加するには、学認申請システムで「eduGAINに参加する」にチェック

- ▶ **注意:** 連絡先種別は「**support**」または「**technical**」としてください

- ▶ **IdP/SPの設定手順**は学認ウェブサイトの「[eduGAINに参加する](#)」参照のこと

- ▶ ⇒ <https://www.gakunin.jp/join/eduGAIN>

- ▶ eduGAIN

- ▶ 学認からの参加数(2021年7月現在)

- ▶ IdP:58

- ▶ SP: 5



学認の近況について

- ▶ テストフェデレーションの署名鍵更新(2020/12)
 - ▶ 滞りなく完了
 - ▶ 最新の情報: <https://www.gakunin.jp/join/test/rule>

- ▶ 近日提供予定
 - ▶ 学認技術ガイド準拠Shibboleth IdPのDockerイメージ
 - ▶ Dockerを用いることで運用者の更新負担軽減を目指す
 - ▶ テストフェデレーション参加SP向けAES-GCMテスト用IdP
 - ▶ Shibboleth IdP 4(新規インストール時)でデフォルトとなったAES-GCMをSP側がサポートしているかどうかをSP自身によって確認するための仕組み



Shibboleth IdPバージョン4リリース(去年3月)

- ▶ 旧バージョンをお使いの方はすでにEOLを迎えておりますので移行をお願いします！
- ▶ 最新版は4.1.2 (3系の最終版は3.4.8)
- ▶ V4情報: <https://meatwiki.nii.ac.jp/confluence/x/FCbxAg>
- ▶ 注: パスワード等が credentials/secrets.properties に移動
- ▶ 新規インストール時のみに影響する項目 (in-place upgrade時はV3時の挙動を受け継ぐ)
 - ▶ SAML1 無効化
 - ▶ Attribute Query無効化
 - ▶ PKIX証明書検証無効化
 - ▶ AES-GCMがデフォルト
 - ▶ CSRF protection
 - ▶ Attribute Registry



属性レジストリ(Attribute Registry)について

- ▶ V4新規インストールのみ影響
- ▶ 従来attribute-resolver.xmlに記述していたSAML2エンコード情報 (<AttributeEncoder>)を別途管理する仕組み
 - ▶ 「id(attributeld)が所定の属性値と一致する場合、所定のOIDを付与して送信」
 - ▶ attribute-resolver.xmlはスッキリ
 - ▶ Simple AttributeDefinitionが不要になる場合も
- ▶ 学認からテンプレートとして配布している `gakunin-rules.tar.gz` を適用してください！
<https://meatwiki.nii.ac.jp/confluence/x/34S5>
 - ▶ 学認で規定している、かつ、Shibboleth配布物には含まれない属性を属性レジストリに登録します



exportAttributes="" に注意

- ▶ LDAP DataConnector等で生成された属性を直接出力するための仕組み
- ▶ 属性名をスペース区切りで列挙する
- ▶ 属性名を1つも指定していないとエラーになりますのでご注意を
- ▶ 注:ここで列挙した属性名が属性レジストリに登録されているものと一致しなければならぬ(jaouとか)



SPIにおけるAES-GCM暗号対応状況について

- ▶ V4新規インストールのみ影響
- ▶ Shibboleth IdPv4より、新規インストール時のデフォルトのXML暗号化アルゴリズムの設定が従来のAES-CBCからAES-GCMに変更され、AES-GCMに非対応の一部のSPIにて問題が発生しています。
 - ▶ IdPv3からのアップグレード時には従来通りのAES-CBCが維持されます。
- ▶ 現時点で問題があると情報が寄せられたSPIは以下の5件です：
 - ▶ HeinOnline
 - ▶ Emerald Insight
 - ▶ SpringerLink (<https://fsso.springer.com>)
 - ▶ Nature (<https://secure.nature.com/shibboleth>)
 - ▶ Clarivate社のWeb of Science
- ▶ 最新情報、IdPでの対処方法など以下でまとめます：
<https://meatwiki.nii.ac.jp/confluence/x/IShsB>



TomcatからJettyへの移行

- ▶ 技術ガイドはV4からJettyで構築する記述となっています
- ▶ V3からの流れでTomcat 8/9をご使用の方々はJetty 9.4への移行をご検討ください
 - ▶ Tomcatで凝った設定をしている場合に移行問題があれば、お知らせください
 - ▶ (体感で)軽量です!



次に来る4.1の波

- ▶ 4.1.0が3月にリリースされました
- ▶ プラグイン/モジュールを容易に扱える仕組みが導入されていますが、従来のやりかたでも大丈夫です
- ▶ /opt/shibboleth-idp/system/ 配下のファイルがJARファイル内に移動しているのでご注意を
 - ▶ uApproreJPインストール方法修正済み
<https://meatwiki.nii.ac.jp/confluence/x/FlADAQ>



お知らせ:情報処理技術セミナー

NIIの教育研修事業として例年2日間コースでShibboleth等の実習を行っております

今年度も昨年度に引き続きオンラインで実施します

- ▶ 教育・研究機関等のシステム運用担当の教職員を対象としています
- ▶ 基礎編
 - ▶ 7月15~16日
 - ▶ テーマ:Shibboleth環境の構築
- ▶ 活用編
 - ▶ 9月16~17日
 - ▶ テーマ:構築されたShibboleth環境に対してアドバンスな機能の実現
- ▶ IDaaS編
 - ▶ 11月25~26日
 - ▶ テーマ:IDaaS環境の構築・テスト・カスタマイズ
- ▶ 詳細は下記にて:
<https://hrd.nii.ac.jp/joho-karuizawa/2021>



学認に参加しているNII認証推進室提供サービスについて

- ▶ NII FileSender（大容量ファイル転送サービス）
 - ▶ FileSender V2に移行完了しました
 - ▶ パスワードを設定して(自動生成機能有)エンドツーエンドのファイル暗号化が可能です
 - ▶ マニュアル: <https://meatwiki.nii.ac.jp/confluence/x/grUHB>
- ▶ FaMCUs（テレビ会議多地点接続サービス）
 - ▶ 既報の通り3月末でサービス提供終了とさせていただきます

国立情報学研究所 学術基盤推進部 学術基盤課 総括・連携基盤チーム（認証担当）

Web: <https://www.gakunin.jp/contact>

もしくは

mail: gakunin-office@nii.ac.jp



まで、お気軽にどうぞ。